

第6学年 国語科学習指導案

日 時 平成18年11月22日(水)5校時
児 童 6年2組 男12名 女10名 計22名
指導者 菅野 敦子

- 1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう
- 2 教材名 「平和のとりでを築く」
「自分の考えを発信しよう」 - インターネットと学習
- 3 単元について
(1) 児童について

児童はこれまでに、「生き物はつながりの中に」で、文章の構成や表現に注意して筆者の考えを読み取るために、問題提起文と対応する答えの文を指摘したり、段落ごとに要点をまとめたり、小見出しをつけ段落相互の関係から文章の構成をとらえる学習をしてきた。また、文章を要約し、筆者の考えに対する自分の考えを文章にまとめるために、要点をもとに文章を要約したり、題名の意味を考えながら筆者の主張や意図をとらえ、要旨にまとめたり、自分の考えをまとめて書く学習をしてきた。

その結果、説明文の読み取り方法に慣れてきて、筆者の論の進め方について理解をするようになってきた。しかし、一読して文章の中心を読み取る児童がいる一方、要点をつかみにくい児童もいるため、文章の構成や要点をまとめられるよう、ワークシートなどを使い、文章を丁寧に読み取っていく活動が必要である。ふだんの学習の中では、必要に応じてグループでの話し合いを入れ、どの子も自分の考えを持てるように心がけ指導してきた。考えに自信がもてず皆の前での発表をためらう児童も4、5人グループであれば安心して考えを言い、互いに教え合ったり認め合いながら互いのよさから学んだことを広げたりする態度が育ってきている。

(2) 教材について

第5学年及び第6学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。」ことである。この目標を達成するため本単元の「平和のとりでを築く」では、「エ 書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかくこと。」「イ 目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。」の指導が必要になる。

本教材は、広島原爆ドームが世界遺産となった経緯を、筆者の思い、原爆ドームのたどった歴史、世界遺産への道のり、筆者の伝えたい考えという構成で表しており、「書かれている内容について、事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかく。」という(読むことエ)ねらいに迫ることのできる教材である。続く「自分の考えを発信しよう - インターネットと学習」は、平和というテーマに関わる多様な材料を集め、自分なりの考えをもち発信していくという、表現力を高めることができる教材であり、「自分の考えを明確に表現するため、文章全体の組み立ての効果を考えること。」や「事象と感想、意見などを区別すると共に、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。(書くことウ、エ)の指導に適した教材である。

文章の特質としては、問いに対して明確な答えのある説明文ではなく、はじめと終わりには筆者の思いが強く書かれている文章である。擬人法、比喩法などが使われ、児童が比較的スムーズに読み進めていくことができると思われる。戦争(原爆)で傷を受けた原爆ドームを例にして、その歴史を読み取りながら、保存への道のり、多くの人々の希求する平和、筆者の伝えたい考えを読み取りこれからの社会のあり方を6年生の児童に考えさせるにはふさわしい教材である。

(3) 人権教育の観点から

人権理解にかかわって

世界平和については、児童は生まれたときから平和な世の中に育っており、ふだんの生活ではあまり意識してはいない。戦後61年が過ぎ、戦争体験の継承が薄らいできている中、「平和のとりでを築く」という教材で、筆者の考え方を読み取り、二度と戦争を繰り返さないように心に誓い、平和な社会をつくるために互いに違う立場の人間同士知り合い、歩み寄り理解し合えるよう話し合ったり、行動を共にしていくことの大切さについて考えていきたい。平和の一番の基は、お互いをよく知り合うことであると思う。ある年が来れば成人し、同じ世代と一緒に生きる子供同士であるので、グループで話し合う

際に互いの考えのよさを認め合いながら、互いによく理解し合うことができればと考える。
育てたい力について

「思考力・判断力」にかかわって

自ら課題意識をもち、学ぶ意欲をもつことができるようにするため、「平和のとりでを築く」の冒頭で、筆者の伝えたいことを読み取り、これに対して自分の考えをもち発信方法を考え発信するということを知らせ、目的意識をもたせて学習を進める。「自分の考えを持ち、それを表現(発信)する」というねらいを達成するために、文章の構成や表現に注意して、筆者の考えを読み取ることができるようワークシートを使用したり、文章への書き込み活動などをする。筆者の考えに対して自分の考えを具体的にもてるように、社会科の歴史学習と関連付けて学習を進める。課題意識が続くよう関連図書、資料などの準備をし、すぐ利用できるようにしておく。

「受容力」にかかわって

相手の立場や考えを尊重し、よさや違いを認め受け入れることができるようにするため、筆者の思いを読み取る際に一人学びの後グループ学習を行う。その中で、自分の考えを友達と交流し合い、自分の考えを広げたり、深めたりする助けとしたい。また、「平和」についての自分の考えを発信する場では、社会科や総合学習で学習したことをもとに自分の考えをもたせ、グループでの学習を通して友達の考え方から学ぶ場をとりたい。

「表現力・行動力」にかかわって

根拠を明らかにして、自分の考えを工夫して伝えることができるようにするため、文章に書かれたことを正確に読み取り、要旨を正しくとらえさせるよう、事実と筆者の意見の違い、文末の違い、重要語句に気を付けさせ学習を進める。「平和」について自分の考えを工夫して伝えられるように、自分の考えの根拠となるような関連図書、資料を利用できるよう必要な情報を取捨選択させる方法を指導しながら学習を進める。その際、発信相手を意識させ、目的意識を大事にしながら指導にあたる。

(4) 指導にあたって

「平和」というテーマについて、明確な根拠をもとに自分の考えを主体的に発信するために次の三点を考慮して指導にあたりたい。一点目は、「平和のとりでを築く」の読み取りにおいて、筆者の考えを読み取るために、題名や文章の構成、キーワードなどから筆者の考えを要旨にまとめられるよう学習活動をつくる。文章を正しく読み取っていきけるよう、ワークシートの利用や文章への書き込みなどの活動をし、どの児童にも説明文の読み取り方の力をつけたい。二点目は、筆者の考えに対する自分の考えをまとめるため、まとめた要旨をもとに、自分の考えを具体的に書けるよう指導する。ここでは、社会科で戦争や広島について学び、関連図書を読んだり調べたりする時間を本単元と関連付けながら行っていく。その際、子ども達が「もっと知りたい」と思う事柄に対応できるように、できるだけ図書や視聴覚資料などを用意したい。三点目は、「自分の考えを発信する」という文末の課題をとらえ、課題追求の計画を立てるなど、学習の見通しをもたせるようにする。また、自分が発信する事柄の根拠となるような情報を進んで集め、読んだり、話し合ったりすることを通して自分の考えを拡充するようにさせたい。この時、課題が似ているもの同士で情報交換したり、話し合ったりすることができるように必要に応じて、グループでの学習形態をとりたい。

以上のことを配慮し、どの児童も自分の考えに従って主体的に発信できるよう指導していきたい。

4 単元の目標

筆者の伝えたいことに対して自分なりの考えをもって読んだり、話し合ったり、意見文に書きまとめたりしようとしている (関心・意欲・態度)

文章の内容を的確におさえながら要旨をとらえ、自分はどのように考えるかを明確にしながら読んでいる。 (読むこと)

自分の考えを深めるために必要な資料を読み取っている。 (")

自分の考えを明確にするために、必要な材料を選び、整理して全体の組み立てを考えて書いている。 (書くこと)

文中の語句や漢字の意味を理解し、指示語の効果的な使い方を身につけて、書いたり話したりする時に適切に使うことができる。 (言語の知識・技能)

5 単元指導計画(14時間)

過程	時	学習内容	評価規準			
		平和のとりでを築く	関心・意欲・態度	読むこと	言語事項	
第一次 構えと見通し	1	単元名、リード文、題名から学習の構えをもつ。 単元構成を把握し、学習の見通しをもつ。	題名から感じたことを書いたり発表したりしようとしている。	単元構成を把握し、これからの活動に見通しをもっている。	国語辞典を使って語句の意味を調べている。	
	第二次 筆者の伝えたいことを考える	2	題名と第一段落から読みの課題を共通認識し、全文を読む。	読みの課題を考えようとしている。	筆者の思いをとらえ、読みの課題を理解している。	題名の言葉の意味について理解している。
		3	文章構成をつかみ、小見出しをつける。	筆者の論の進め方について進んで読もうとしている。	文章構成をつかみ小見出しをつけている。	重要語句に着目して要点をまとめている。
		4	産業奨励館が原爆ドームと呼ばれているのはなぜか、どうして保存されることになったのかを読み取る。	原爆ドームの保存について自分の考えを書いたり発表したりしようとしている。	原爆ドームが保存されるようになったわけをとらえている。	指示語が示している内容について理解している。
		5	原爆ドームが世界遺産になったのはなぜか、そこにつながる世界の人々の思いを読み取る。	原爆ドームが世界遺産になるまでの経過をとらえようとしている。	原爆ドームが世界遺産となったわけをとらえている。	事実と考えを区別して理解している。
		6	「平和のとりでを築く」で筆者が伝えたいことは何かを考え、まとめる。	筆者の考えをとらえようとしている。	筆者の考えを理解している。	文末の表現の違いを理解している。
		7	筆者の伝えたい考えに対する自分の考えをまとめる。(本時)	筆者の伝えたい考えに対する自分の考えをまとめようとしている。	(書くこと) 平和について自分の考えをもちまとめている。	考えと理由を明らかにして文章を書いている。
		自分の考えを発信しよう	関心・意欲・態度	書くこと	言語事項	
第三次 自分の考えを発信する	8	発信する相手を意識して課題を設定することができる。	平和に対する自分の考えを発信しようとしている。	自分の課題を具体的に書いている。		
	9	平和についての言葉マップを書き調べることを具体的にすることができる。	伝えたい事柄を見つけたり整理したりするために言葉マップを作ろうとしている。	平和から連想する言葉を集め、伝えたいことを整理しようとしている。	中心語とかけ離れない連想語を三つ以内で書いている。	
	10	発信したい主張を仮の要旨として、三文以内で書き表すことができる。	自分の伝えたい考えを三文以内で書き表そうとしている。	自分の伝えたい考えを要旨としてまとめることができる。	主張、根拠、提案の枠組みに沿って文章を書いている。	
	11 12	自分の課題に沿って要旨に説得力を持たせる材料を集め、組み立てて文章を書くことができる。	要旨に説得力を持たせる材料を進んで集め、効果的に組み立てて文章を書くようとしている。	事実や引用と自分の考えを結びつけながら、効果を考えて組み立てて書くことができる。	事実や引用、自分の考えなどの語句に気をつけて文章を書いている。	
	13	要旨をもとに文章として表現することができる。	要旨をもとに進んで文章に書こうとしている。	事実と意見を書き分けて平和に対する考えをまとめる	主述の関係や文末表現などについて推敲している。	

				ことができる。	
習のまいる 第四次学	14	単元の学習を振り返り、平和に対する自分の考えの変化や深まりについて話し合う。	学習を通して考えたこと、身につけたことを振り返ることができる。	自分の学習を振り返って感想を書いている。	

6 評価規準

	A 十分満足	B 概ね満足	C への支援
関心 意欲 態度	筆者の考えを読み取り、自分なりの考えを持ち、進んで「平和」について読んだり、話し合ったり、書いたりしようとしている。	筆者の考えを読み取り、自分なりの考えを持ち、「平和」について関心を持って読んだり、話し合ったり、書いたりしようとしている。	「平和」に対して皆の話し合いから自分の考えをもち、文章に書けるようにさせる。
読む	筆者の考えを読み取り、平和への自分の考えをもち、発信することができる。	筆者の考えをまとめ、自分はどのように考えるかを明確にしながら読んでいる。	原爆ドーム保存、世界遺産登録への住民の運動から、平和を希求する多くの人々の気持ちを考えさせ筆者の考えを読み取らせる。
書く	自分の考えの根拠となる事柄を取材し、効果的な文章の組み立てを考え表現することができる。	自分の考えを明確に表現するために、材料を選び直したり、効果的な文章の組み立てを考えたりしている。	自分の考えを初め、中、終わりを考えて書けるようにさせる。

7 本時の指導

(1) 目標

筆者の伝えたい考えに対して、視点を明確にして自分の考えをまとめることができる。

(2) 人権教育の観点から

児童は、戦争の悲惨さについては理解しているが、世界の平和や平和維持のための活動についてはあまり理解していない。従って、平和について自ら考える場については、国連の平和会議やオリンピックなどのスポーツ交流、広島での平和式典などの写真資料を提示し平和活動について理解させ、自分の考えをもたせたい。グループ学習で互いに認め合う場では、社会科での学習や学習発表会での取り組みなど今まで学習したことを思い出して話し合い、互いの意見から学ぶ機会にしたいと考える。

(3) 展開 (7/14時)

段階	学習内容	予想される反応 指導上の留意点・支援()	評価(□)人権教育の観点()
つかむ 5分	1 前時の学習から筆者がこの文章で伝えなかったことは何か想起する。	・戦争の悲惨さと平和を守ることの大切さ ・ひどい戦争を繰り返してはいけないこと ・文章を読んだ人に将来にわたって平和の心を引き継ぎ、平和のための行動をとってほしいこと。	筆者が伝えなかった事柄について発表させる。 受容力・思考力
考える 17分	2 学習課題の把握 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">筆者の伝えたい考えについて、自分の考えをまとめよう。</div> ・学習課題を書く		□学習課題を把握できたか。 (観察)
	3 戦争や平和活動について話し合う。	平和のとりでを築く観点の話し合いをし、一人一人が平和を築くとはどういうことかについて話し合う。	

	<p>・原爆ドームを保存したのはどんな目的があったからなのか。</p> <p>・平和のための活動はどんなものがあるか。</p> <p>4 筆者が伝えたいことについて自分の考えをまとめる。</p> <p>(1)筆者が伝えたいことについての自分の考えを書く。</p> <p>・悲惨な戦争にならないために自分はどうかあればよいか考えて書きなさい。</p> <p style="text-align: center;">自ら考える場</p> <p>(2)自分の考えについて班で話し合い考えを深める。</p> <p style="text-align: center;">互いに認め合う場</p> <p>(3) 班毎で話し合ったことを発表し全体で考えを深める。</p>	<p>・平和へのシンボルとするため</p> <p>・戦争を忘れてはいけないため</p> <p>・国連の平和会議</p> <p>・オリンピックなどのスポーツ交流</p> <p>・広島の平和式典</p> <p>・憲法9条など</p> <p style="text-align: center;">世界平和のための活動についての資料を提示し理解させる。</p> <p>・私は、筆者の考えと同じ考えです。しかし、世界ではテロや核実験など現実には平和と言えない状況があります。だから、そのままにしておかず身の周りの人達に平和をすすめるよびかけをしていきたい。</p> <p>・自分の読んだ本では、自分と同じ世代の人が差別され悲惨な生活や死に方をしました。二度とこのようなことは繰り返してはいけないと思います。</p> <p style="text-align: center;">考えの根拠として、今までの学習の中から具体的な例を挙げて書けるよう机間指導をする。</p> <p>・ 班では、筆者の考えに対して、～という考えが出されました。その理由は～や～等のようなことがあるから～の様なことをしていきたいという考えが出されました。</p> <p>・筆者の考えのように平和を守っていききたい。そのために一人一人が平和を大切に、行動することが大切である。人間同士互いに知り合うために話し合ったり、互いの立場を理解し、思いやることが大切である。</p> <p style="text-align: center;">平和のとりでを築く上で大事にしたいことをとらえ、今できること、将来できることに分けて考えさせる。</p>	<p>平和のための活動は人権を尊重するものであることに気付かせる。 思考力・判断力</p> <p><input type="checkbox"/>筆者が伝えたいことについて自分の考えを書くことができたか。(ノート)</p> <p>自分の考えについて友達と意見交流し、考えを深めさせる。 受容力・思考力</p> <p><input type="checkbox"/>自分の考えを友達と交流する中で深めることができたか。(観察、ノート)</p> <p>平和を維持するために大事にしたいことについて考えを深めるようにさせる。 受容力・表現力</p>
<p>まとめる 7分</p>	<p>5 学習のまとめ</p> <p style="text-align: center;">学習を振り返る場</p> <p>・自己評価</p> <p>・相互評価</p> <p>6 次時の予告</p>	<p>自己評価をし、今日の学習で学んだこと、友達の考えのよさについて発表させる。</p> <p>次時は、発信に向けて学習をすることを告げる。</p>	<p><input type="checkbox"/>学習課題について振り返ることができたか。 ノート</p> <p>友達の考え方のよさを発表し、認め合わせる。</p>

深める
16分

(4) 評価

筆者の伝えたい考えに対して、視点を明確にして自分の考えをまとめることができたか。

8 板書計画

<p>平和のとりでを築く 大牟田 稔</p>	<p>筆者が伝えたい考えについて、自分の考えをまとめよう。</p>	<p>筆者の考え</p> <p>私達人間は、原爆ドームを見ることで、核兵器や戦争といった過去のあやまちを決してくり返さず、平和な世界をつくらうという強い意志(平和のとりで)をもたなければならぬ。</p> <p>平和を築くため</p>	<p>平和ドーム写真</p> <p>保存する立場</p> <p>核兵器、戦争の悲惨さをつたえろ。</p>	<p>平和会議 スポーツ交流</p> <p>国連会議の写真</p> <p>オリンピックの写真</p> <p>平和式典 憲法九条</p> <p>広島平和式典の写真</p>	<p>大事にしたいこと</p> <p>平和であることに感謝し、平和を守る心を大切にす。 憲法を守り、戦争を繰り返さない。 人間同士互いに理解し合う努力 国同士で友好関係を築く。 戦争の悲惨さを語り継ぎ、皆でいましめ合うこと。 核兵器の不使用</p>
----------------------------	-----------------------------------	--	--	--	--

